

**保険の窓口インズウェブ [調査レポート]**

「後部座席シートベルト用の義務化」についてのアンケート調査を実施

**後部座席のシートベルトを必ず付けている人は 44%**

各種保険商品の一括見積もりや一括資料請求サービスが利用可能な「保険の窓口インズウェブ」では、サイトを利用したユーザーを対象として「後部座席シートベルト着用の義務化」についてのアンケート調査を実施しました。

**質問内容**

質問「後部座席に乗る又は乗せる際、シートベルトをつける又はつけさせていますか？」

回答項目

- ・必ずつける又はつけさせている
- ・大体つける又はつけさせているが、たまにつけない又はつけさせないことがある
- ・高速の時だけ必ずつける又はつけさせている
- ・つけない又はつけさせていない

**調査概要**

調査方法 インセンティブなしのインターネットによる任意回答  
(保険の窓口インズウェブ会員へのメール配信)

メール配信数 約 55 万通

有効回答者数 9223 人

有効回答率 2%

調査期間 2008 年 8 月 9 日 ~ 8 月 18 日

**調査結果**

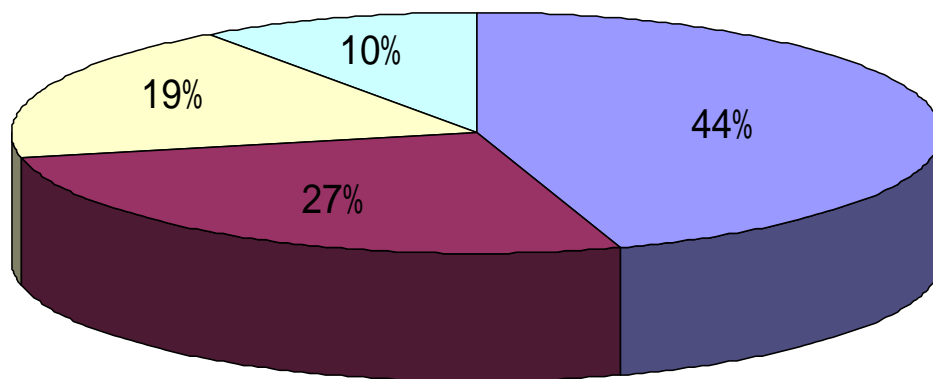
後部座席のシートベルトを「必ずつける又はつけさせている」という人が「44%」と、2008 年 6 月の「後部座席シートベルトの着用義務付け」からユーザーの意識が変わってきている事が分かった。(昨年度の警視庁・JAF 合同調査によると 8.8%が着用)

しかし「必要がない」「面倒」といった意見も多く、制度が始まって数ヶ月経った今でもまだまだ制度自体の認知が足りていない事が分かった。

アンケート結果の詳細はこちらをご覧ください。

<http://www.insweb.co.jp/research/report/vol001.htm>

## 結果グラフ



- 必ずつける又はつけさせている
- 大体つける又はつけさせているが、たまにつけない又はつけさせないことがある
- 高速の時だけ必ずつける又はつけさせている
- つけない又はつけさせていない

## その他コメント

1人分足りないの、車の買い替えが必要になった。迷惑な話だ。
いつから、どの道路で着用義務が生じて、違反をした場合はどうなるのか、など分からない点が多い。宣伝不足の気がする。
もっと、なぜ、義務化になったか、広く知ってもらおう努力が足りない。(国の努力)
もともと後部座席でも着用している。国産の2列目以後のシートは中央座席は2点式ベルトしかないのが不満である。乗車定員分の3点ベルトは必要であろう。
事故の際の必要性は認識しているが、目上の方を乗せる場合は、お願いしにくい。
自己責任であるから、義務化は必要ないと思う。もし着用が必要であるなら義務化するよりも、啓発のための広報活動に力を入れるべき。結局のところ義務化して得をするのは警察(直接的)と保険会社(間接的)だけ。義務化によって保険料が下がるという話は聞いたことがない。
本来は事故を起こさない環境を作るべきなのに十分な根拠もなく義務化するのは責任転嫁であり納得できない。
例外が多すぎて法としてどうなのかと思う。それより既存の携帯電話の使用禁止やチャイルドシートの方を徹底すべきかと思う。
あまり認知されていないのでもう少しみんなが理解できるように徹底させる必要があると思う。
いい法案だと思いますが、後ろのシートベルトは非常に付けにくく疲れやすいです。もっと改良がひつようです。
いずれ効果がでてくることなので今はいやいやでも強制継続すべき。
自動車メーカーにアメリカのように自動的にシートベルトをつけるような装置の標準装備化を法律で制定して欲しい。
車メーカーも、使いやすいシートベルトをつくって欲しい。特に、後部真ん中の座席などに対して。
周知徹底をしっかりとって欲しい。(テレビCMでも)
これまでは、後部座席でシートベルトを使用する事は、ほとんど無かった。義務化を機会にシートベルトをつけるようになった。安全性を高めるのに有効なら良いことだと思う。
シートベルトの着用は安全の為に当然な事と考えます。
バスやタクシーなどは、運転者ではなく搭乗者に責任を課すべき。
安全という観点からは、非常に有意義なことだと思います。
安全を考えれば法律による義務化などにかかわらず必ず着用すべきであるとする。

## 「保険の窓口インズウェブ」について

「保険の窓口インズウェブ」は、2000年にインズウェブ株式会社（ソフトバンク・ファイナンス株式会社とアメリカの InsWeb, Inc.、米金融会社の Marsh、& McLennan Capital による合併会社）がサービスを開始した「自動車保険一括見積もりサービス」を中心とした保険比較サイトです。1回の見積もり依頼で複数の保険会社から見積もりが取れる等のサービスの利便性の高さから、現在までに述べ 280 万人（2008 年 6 月現在）以上の方に利用されており、インターネットにおける自動車保険比較サイトとして確固たる地位を確立しております。現在の運営会社は SBI ホールディングス株式会社となり、自動車保険だけに留まらず、生命保険・バイク保険・ペット保険等の比較サービスも合わせて展開しており、中立的な立場からより一層のサービス向上と利用者拡大に注力しております。

- ・ 自動車保険一括見積もりサービス 参加会社数：21 社
- ・ 生命保険等一括資料請求サービス 参加会社数：23 社  
商品数：約 75 商品

2008 年 9 月 16 日現在

保険の窓口インズウェブ 運営サイト

自動車保険一括見積もり：<http://www.insweb.co.jp/>

生命等保険等一括資料請求：<http://life.insweb.co.jp/>

バイク保険一括資料請求：<http://bike.insweb.co.jp/>

ペット保険一括資料請求：<http://pet.insweb.co.jp/>

生命保険相談「保険@カルテ」：<http://life.insweb.co.jp/karte/index.html>

今後保険の窓口インズウェブでは、会員ユーザーに対して定期的にアンケートを実施し、「ネットでは保険を比較したユーザーの声」としてアンケートの結果を適宜公表してまいります。

### 保険の窓口インズウェブ会員属性

男性 約 74% 女性 約 26%

年代 20 代 約 23% 30 代 約 39% 40 代 約 23% 50 代 約 10%（9/2 現在）

自動車保険の一括見積もりのサービスを提供しており、大多数のユーザーが車を所有している点が大きな特徴です。

本プレスリリースについてのお問い合わせ先

SBI ホールディングス株式会社 インズウェブ事業部 安井・紀山

〒106-6019 東京都港区六本木 1-6-1 泉ガーデンタワー19F

TEL 03-6229-0817 FAX 03-6229-0583

Email [insweb\\_press@sbigroup.co.jp](mailto:insweb_press@sbigroup.co.jp)

アンケートに関するご要望等についても上記までご連絡下さい。

（回答が出来ない場合もございますので、予めご了承下さい。）